

特別会計

(単位：千円、%)

会計名	平成26年度	平成25年度	比較		備考 (主な増減)
			増減額	増減率	
国民健康保険事業 特別会計	8,714,000	8,500,000	214,000	2.5	保険給付費の増
国民健康保険診療所 事業特別会計	190,000	205,000	▲ 15,000	▲ 7.3	医師人件費の減
後期高齢者医療事業 特別会計	1,858,000	1,818,000	40,000	2.2	広域連合負担金の増
介護保険事業特別会計	7,220,000	6,780,000	440,000	6.5	保険給付費の増
介護サービス事業 特別会計	101,000	98,000	3,000	3.1	訪問看護事業の増
集落排水事業特別会計	161,000	163,000	▲ 2,000	▲ 1.2	修繕料の減
浄化槽整備推進事業 特別会計	226,000	226,000	0	0.0	
港湾整備事業特別会計	20,000	20,000	0	0.0	
合計	18,490,000	17,810,000	680,000	3.8	

企業会計

(単位：千円、%)

会計名	平成26年度	平成25年度	比較		備考 (主な増減)
			増減額	増減率	
水道事業会計	2,214,149	2,559,962	▲ 345,813	▲ 13.5	工事費の減
病院事業会計	1,829,366	1,837,165	▲ 7,799	▲ 0.4	
永康病院	1,665,509	1,676,155	▲ 10,646	▲ 0.6	医薬費用の減
西香川病院	163,857	161,010	2,847	1.8	改修工事の増
合計	4,043,515	4,397,127	▲ 353,612	▲ 8.0	

特別会計

信会眼科

1. 国民健康保険事業特別会計「予算額 87億14,000千円」対前年度比 2.5%増

国民健康保険は、病気等に備えてお互いに支えあい、安心して医療を受けられるようにするための制度で、医療保険のひとつとして、市区町村が運営しています。職場の健康保険（健康保険組合や共済組合等）、後期高齢者医療制度に加入している方や生活保護を受けている以外の方は、必ず国民健康保険に加入しなければなりません。また、保険者として特定健診・特定保健指導・人間ドックを実施いたします。

平成26年度は、保険給付費の伸びに伴い、負担金・交付金等の増額が見込まれます。年間平均被保険者数を1万8,486人と見込み、予算規模を87億14,000千円としています。

2. 国民健康保険診療所事業特別会計「予算額 1億9,000千円」対前年度比 7.3%減

国民健康保険診療所事業特別会計は、財田診療所、志々島診療所及び栗島診療所の運営に係る経費等を計上し、予算規模を1億9,000千円としています。

3. 後期高齢者医療事業特別会計「予算額 18億58,000千円」対前年度比 2.2%増

後期高齢者医療制度においては、医療給付や保険料の決定等の事務は、都道府県ごとに全ての市町村が加入する広域連合が行っており、保険料の徴収事務及び被保険者の各種申請・届出の受付や被保険者証の引渡し等の窓口事務は、市町村によって処理するものとして定められています。

後期高齢者医療事業特別会計では、保険料、医療費負担金、共通経費負担金による広域連合への納付金及び事務経費等を計上し、予算規模を18億58,000千円としています。

4. 介護保険事業特別会計「予算額 72億20,000千円」対前年度比 6.5%増

介護保険事業特別会計は、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正化を図るため設置しています。介護保険は、65歳以上の人（第1号被保険者）及び40歳～64歳の人（第2号被保険者）の保険料と国・都道府県・市区町村からの公費を財源として運営されています。平成24年度からは、第1号被保険者の月額保険料基準額を4,850円に改定し、介護保険財政の基盤安定に努めています。介護保険料は、加入者が介護や支援を必要とする時に、介護（介護予防）サービスを利用する費用に充てることで、加入者とその家族を支えることを目的としており、予算規模を72億20,000千円としています。

5. 介護サービス事業特別会計「予算額 1億1,000千円」対前年度比 3.1%増

介護サービス事業特別会計は、介護保険の指定事業所の指定を受けて三豊市財田町訪問看護ステーションが実施する訪問看護事業（年間延べ利用者数：約1,300人）、三豊市財田町デイサービスセンターが実施するデイサービス事業（年間延べ利用者数：約6,000人）、三豊市地域包括支援センターが実施する介護予防ケアプラン作成事業（年間延べ利用者数：約6,500人）、及び居宅介護支援事業（年間延べ利用者数：約380件）の各事業の円滑な運営とその経理の適正化を図るため設置しており、予算規模を1億1,000千円としています。

6. 集落排水事業特別会計「予算額 1億61,000千円」対前年度比 1.2%減

集落排水事業特別会計は、処理区域における公共用水域の水質汚濁を防止し、快適な生活環境整備を図るため、農業集落排水処理施設5施設（「高瀬町：上高瀬第1地区」「三野町：大見地区」「詫間町：湯・満地区、大浜地区」「仁尾町：北草木地区」と、漁業集落排水処理施設1施設（詫間町：上新田地区）の運営に係る経費を計上し、予算規模を1億61,000千円としています。

7. 浄化槽整備推進事業特別会計「予算額 2億26,000千円」対前年度比 同額

浄化槽整備推進事業特別会計は、公共用水域の水質汚濁を防止し、快適な生活環境整備を図るため、特定地域（高瀬町処理区域・三野町処理区域）に生活排水事業として設置した、浄化槽約2,100基の運営に係る経費を計上し、予算規模を2億26,000千円としています。

8. 港湾整備事業特別会計「予算額 20,000千円」対前年度比 同額

港湾整備事業特別会計は、港湾を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、詫間港の管理者である香川県とも連絡を密にし、西讃地区における産業の拠点として、コンテナターミナル等の港湾流通機能の維持・増進を図ることを目的としています。また、市が詫間港に設置している起重機の効率的な利用と安全を図り、常に利用者の要請に応じる体制を確保し、施設の保全と機能の維持増進及び公平な利用を図るための経費を計上し、予算規模を20,000千円としています。

企業会計

1. 水道事業会計「事業費用及び資本的支出 22億14,149千円」対前年度比 13.5%減

水道事業は、自己水源池と浄水場及び県水道用水から受水して、1日平均30,000m³を給水するための経費を計上しています。

また、本年度は前年度に計上された配水池築造工事を含む施設設備費が事業完了により、大幅に減少しておりますが、耐震配水管布設工事及び耐震配水管布設替工事等の配水設備費の予算を増額し、安全で安心な水を安定的に供給します。

2. 病院事業会計（永康病院・西香川病院）「事業費用及び資本的支出 18億29,366千円」対前年度比 0.4%減

永康病院及び西香川病院の運営に係る経費を計上しています。永康病院の本年度の業務予定量は、病床数が199床で年間患者数は入院が5万3,923人、外来が5万6,358人と見込んでいます。

まず、永康病院の事業費用及び資本的支出は16億65,509千円、西香川病院の事業費用及び資本的支出は1億63,857千円としています。両病院では、地域における医療・保健・介護の拠点病院としての役割を担えるよう医療機器を充実整備するとともに、入院・在宅を含めて心身に及び包括的なケア医療、人間ドックや高齢者ドック、また、がん検診等の保健事業の展開及び介護の提供を行っていきます。